



薬害根絶デーについて

# こんなにあった日本の薬害

ペニシリンショック 1956▶

鎮静・催眠剤サリドマイド(日本では胃腸薬にも配合)を妊娠中に服用した母親から手足や耳に奇形をもった子どもが生まれた。被害時は世界で数千人、日本約千人(認定数309人)。日本では61年のレント博士(ドイツ)の警告にもかかわらず、その後9ヶ月間も販売を継続、被害が拡大した。

サリドマイド 1961▶

心臓病薬コラルジルによる肝障害の被害者千人以上。

コラルジル 1970▶

抗マラリア薬、抗炎症薬クロロキンによる視力障害。被害者千人以上。

クロロキン 1971▶

幼児、小児への筋肉注射(大腿四頭筋、三角筋、臀筋)によってその部位の筋肉が伸びなくなり、膝や肩、腰の関節が曲がらなくなる症状が相次いだ。被害者は9千人以上。

筋短縮症 1973▶

三種混合(DPT)ワクチン禍 1975▶

抗菌剤クロラムフェニコールによる再生不良性貧血が7年以上にわたり発生。

クロマイ 1975▶

新三種混合(MMR)ワクチン禍 1989▶

3つの病気の混合ワクチンで、製造法の無断変更が発覚。無菌性髄膜炎、脳症など約2千人、死亡、重い後遺症も。市民・医師の中止要求、安全性が否定される2次感染が発生するも厚生省は接種を続行。被害を拡大させ、予防接種史上最多の1040人の被害救済を迫られ、訴訟では企業への指導監督義務違反と断罪された。

1989 薬害根絶の碑 建立▶

抗生物質コスモシンによる皮膚障害など。コスモシン 1993▶

薬害ヤコブ病 1996▶

脳外科手術の際に使用されたヒト乾燥硬膜(ドイツから輸入)がプリオンに汚染されていたために、100名以上がクロイツフェルト・ヤコブ病を発症し植物状態の後に多数が死亡。米国では87年にこの製品の輸入を禁止したのに対し、日本での使用禁止は10年遅れの97年だった。

薬害肝炎 2002▶

出産時や外科手術時の出血、新生児出血症などの病気に、フィブリノゲン製剤や第Ⅸ因子製剤などの血液製剤を投与され、多くの患者がC型肝炎ウイルス感染被害を受けた。1980年以降にフィブリノゲン製剤の投与を受けてC型肝炎ウイルスに感染した患者は少なくとも1万人以上いると言われている。

子宮頸がんワクチン 2013▶

4月に定期接種化されたが、接種後の重篤な副反応報告が相次ぎ、6月には「積極的な接種」を勧めることを中止した。

◀1948 京都・島根ジフテリア予防接種禍

戦後薬害第1号、世界史上最大の予防接種事件。84名の子どもが死亡、被害総数およそ1千名。

◀1965 アンブル風邪薬

◀1967 ストマイ

抗結核薬ストレプトマイシンにより聴力障害などが多発

◀1970 種痘禍

天然痘の予防接種。重い障害が発生し、予防接種の被害を社会問題化させるきっかけとなった。1973年東京をはじめ4大集団訴訟が始まる。

◀1970 スモン

60年代から下肢のマヒや視力障害などの末梢神経障害(64年にスモンと命名)多発。70年に整腸剤キノホルムが原因とされるまでは、ウイルスによる伝染病と疑われ多数の自殺者も出た。被害者約1万2千人。キノホルムは第二次世界大戦前からアメーバ赤痢の薬として使用され被害も起きていたが、国は1939年に劇薬指定を解除、製薬企業も1935年のパロス警告(アルゼンチン)を無視し、戦後整腸剤として大量販売した。

◀1974 陣痛促進剤

陣痛促進剤の安易な仕様により子宮破裂、母親死亡、胎児死亡、重度の脳性麻痺等が多発していることを産科医会は74年までに把握しながら、添付文書の大幅改定は被害者団体が指摘した92年までなされなかった。それ以降も少なくとも243事例の重篤な被害がある。

◀1983 薬害エイズ

米国売血由来非加熱血液製剤を使用していた日本の血友病患者等約5千人は次々とHIV(エイズウイルス)に感染し、感染者約1500人のうち多数が死亡した。生存被害者も重複感染したC型肝炎を抱え厳しい闘病を余儀なくされている。国は当時安全な国内血漿の利用や加熱製剤の早期導入を行わず被害を放置した。

◀1989 予防接種後肝炎

数百万人ともいわれるB型肝炎、C型肝炎の患者・感染者の多くが、明治から80年代にかけての集団予防接種での連続注射によって感染したと推定。

◀1993 ソリブジン

帯状疱疹の治療薬ソリブジンとフルオウラシル系抗がん剤の併用により15人が死亡。

◀2002 薬害イレッサ

2002年7月に世界に先駆けて日本で承認された肺がん治療薬の抗がん剤イレッサ。副作用のない夢のような新薬と効果を謳い販売されたが副作用による死亡が多発。対応の遅れなどから8年間で810人もの死者。

◀2006 薬害タミフル

2002年7月に世界に先駆けて日本インフルエンザの薬タミフルで、副作用死が多数報告。企業の報告でも異常行動185名、転落26名、死者70名以上にのぼる。薬害タミフル脳症被害者の会が活動を始めた。

ノー・モア 薬害!

京都民医連 加盟6薬局

一般社団法人 京都コムファ